

提出仕様書番号：第 DJX - 16V01号

殿

仕 様 書

熱電対用補償導線

品名：JX-G-VVF

サイズ：1P × 2.0mm²
(7/0.6)

2008年 9月 1日 発行

株式 福 電
会社

本 社： 大阪市東成区中本1 - 6 - 2
T E L (06) 6974-0123 (代) 〒537-0022
F A X . (06) 6974-0128

柏原工場： 兵庫県丹波市氷上町氷上18番地
T E L (0795) 82-4041 (代) 〒669-3651
F A X . (0795) 82-4508

東京営業所： 東京都大田区蒲田本町1丁目4番3号
T E L (03) 5714-1411 (代) 〒144-0053
F A X . (03) 3731-5550

柏原工場品質管理室

承 認	作 成

1. 適用範囲

この仕様書は、J熱電対と組み合わせて使用する、ビニル絶縁ビニルシースを施した平形補償導線に適用する。

2. 関連規格

- (1). J I S C 1 6 0 2 ----- 熱電対
- (2). J I S C 1 6 1 0 ----- 熱電対用補償導線
- (3). J I S C 3 0 0 5 ----- ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法

3. 構造

補償導線の構造は、付表及び次の各事項の通りとする。

3 - 1. 導体

下記材質の素線をより合わせたものを使用する。寸法、素線の構成は付表の通りとする。

J X [+ 脚 (正脚) ----- 鉄
 - 脚 (負脚) ----- コンスタantan

3 - 2. 絶縁体

導体直上に付表の厚さに絶縁用ビニルを被覆する。
厚さの平均値は付表厚さの90%以上、部分最小値は付表の厚さの80%以上とする。
絶縁体の識別は下記の色とする。

+ 脚 (正脚) ----- 赤
- 脚 (負脚) ----- 白

3 - 3. シース

+ 脚と - 脚を平行に並べ、シース用ビニルを付表の厚さに被覆する。
厚さの平均値は付表厚さの90%以上、部分最小値は付表の厚さの80%以上とする。
シースの色は黄とする。

4. 表示

補償導線の表面に補償導線の種類及び製造業者名略称等を連続に印字する。

表示例： JX FUKUDEN

5. 試験項目

完成品は下記項目の試験を行い、各事項及び付表の値に適合すること。

- (1). 外観試験
- (2). 絶縁抵抗試験
- (3). 耐電圧試験
- (4). 往復導体抵抗試験
- (5). 熱起電力試験
- (6). 構造試験

6. 荷造り

完成品は1条ずつドラム巻又はタバ巻とし、運搬中損傷しない様に適当な荷造り包装を施す。

付表：補償導線構造及び特性表

項 目		寸 法 ・ 特 性
対 数 P		1
導 体	公 称 断 面 積 mm^2	2.0
	構 成 本 / mm	7/0.6
	外 径 mm	1.80
絶 縁 体	厚 さ mm	0.6
	外 径 mm	3.00
二 心 平 行 (短径×長径) 約 mm		3.0 × 6.0
シ ー ス	厚 さ mm	1.00
	仕 上 り 外 径 (短径×長径) 約 mm	5.0 × 8.0
耐 電 圧 A C V / 1 分		1000
絶 縁 抵 抗 - K m		50 以上
往 復 導 体 抵 抗 / Loop · m		0.8 以下
熱 起 電 力 m V		50 : 2.585 ± 0.140
〔 基 準 接 点 : 0 〕		100 : 5.269 ± 0.140

付図：構造断面図

